

# 共通科目（平成23年度以降入学者）

共通科目は、135ページ以降の表の中から学科ごとに定められた単位数以上を修得しなければならない。

なお、共通科目の履修方法は各学科により異なるので、詳細については所属するそれぞれの学科の欄を参照すること。

## 共通科目履修上の注意（全学科）

原則として重複履修は認めない。なお、履修希望者が特定の科目に集中した場合、履修制限することがある。その他、各学科履修規定の表に示す、各科目群ごとの規定に従い、所定の単位を修得しなければならないので、注意して履修すること。

- 外国語科目1群 (1) BASIC LISTENING、NEWS LISTENING、BASIC READING、READING & WRITING、SPEAKING PRACTICE、SPEAKING SKILLS、INTENSIVE READING & WRITINGの7科目14単位が必修である。2年次においてSPEAKING PRACTICE、SPEAKING SKILLS、INTENSIVE READING & WRITINGを履修する条件は以下のとおり。

下記の時期に実施されるTOEIC IP(費用は大学が負担)を受験していること。

- 1年次秋学期（12月ごろ実施予定）

対象科目：SPEAKING PRACTICE および INTENSIVE READING & WRITING

- 2年次秋学期（9月ごろ実施予定）

対象科目：SPEAKING SKILLS

※上記条件を充たさなかった場合は、当該科目の履修が認められないので注意すること。

※テスト実施や履修についての詳細は、LL科目の掲示板にて通知する。

- (2) 同一科目を時間割に従い、週に2回履修しなければならない。
- (3) それぞれの科目は、配当年次が指定されているので注意すること。
- 外国語科目2群 (1) 外国語科目2群は、英語以外の外国語（フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語および日本語）である。原則として母語の履修は認めない。
- (2) 基礎ⅠおよびⅡの単位を修得した者のみ応用を履修できる。
- (3) 科目のローマ数字順に履修すること。日本語については、担当教員の指示に従うこと。
- (4) 同一科目を時間割に従い、週2回履修しなければならない。

## 日本文化学科共通科目履修上の注意

- 情報技術科目群 (1) 初心者は、情報処理ⅠとⅡを履修すること。
- (2) 情報処理Ⅲ、Ⅳ、社会調査法は、パソコンの基本操作ができることが履修の前提になる。履修にあたっては、講義内容をよく読み、最初の授業で担当教員

の確認を受けること。

日本語表現法科目群 日本語表現法ⅠまたはⅡのいずれか1科目を履修すること。1、2年次に履修することが望ましい。

## 国際コミュニケーション学科共通科目履修上の注意

情報技術科目群 (1) 初心者は、情報処理ⅠとⅡを履修すること。  
(2) 情報処理Ⅲ、Ⅳ、社会調査法は、パソコンの基本操作ができることが履修の前提になる。履修にあたっては、講義内容をよく読み、最初の授業で担当教員の確認を受けること。

日本語表現法科目群 日本語表現法ⅠまたはⅡのいずれか1科目を履修すること。1、2年次に履修することが望ましい。

(ただし必修となるのは平成27年度以降入学者)

## 英語コミュニケーション学科共通科目履修上の注意

情報技術科目群 1年次に情報技術科目群の中から情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱの2科目、計4単位を履修すること。

日本語表現法科目群 日本語表現法Ⅰまたは日本語表現法Ⅱのいずれか1科目を履修すること。1、2年次に履修することが望ましい。